



インドの提携会社「J S W」

J F E スチール株式会社

～市場の先駆けとなる気概を胸に支援の活動～

J S W スチールは、1994 年に設立という若い会社ですが、1999 年の粗鋼生産開始から僅か 15 年の現在、1,430 万 t の粗鋼生産能力を持つ、インド有数の鉄鋼メーカーへと発展を遂げました。本社はインドの商業の中心地ムンバイに、主力製鉄所はインド南西部のカルナタカ州のビジャナガールに在ります。

当社は 2009 年に J S W スチールと戦略包括提携契約を締結し、翌 2010 年には約 15 % の出資を行ない、同社に対して自動車用鋼板の製造支援をはじめ、さまざまな技術協力を行っています。

J S W スチールでは現在、J F E スチールと同様の設備や技術の導入が進められており、これを支援するために当社の技術協力部・各製鉄所から 10 数名がビジャナガール製鉄所に派遣されています。一方、ムンバイ本社とデリー支社に駐在する 5 人は、J F E 流の自動車用鋼板マネージメント確立に向けた仕組みづくりを進めています。

そして、今年度中に最新鋭の第二冷延工場が立ち上がるため、新鋼種の開発、お客様にご満足頂ける鋼板を供給するための準備などで大忙しの毎日です。

当社の社員達は、インドと日本とは文化も環境も大きく違いますが、インド市場の先駆けとなる気概を胸に、明るく前向きに業務に取り組んでいます。



J S W スチールのビジャナガール製鉄所



J SWスチールの皆さんと当社からの派遣者たち